

## 授業改善② 考えや理由を説明する力の育成

### (1) 課題の見られた問題例

設問	出題の趣旨	学習指導要領における領域・内容
小算2(4) [記述式] <正答率>	高さが等しい三角形について、面積の大小を判断し、その理由を言葉や数で記述できるかどうかを見る。 下関市：14.6% 全国：20.8%	[小5年] B 図形 (3) イ(ア)
中国4三 [記述式] <正答率> <無解答率>	文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができるかどうかをみる。 下関市：45.0% 全国：50.0% 下関市：24.9% 全国：20.7%	[中1年] C 読むこと エ
中数9(1) [記述式] <正答率> <無解答率>	ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明することができるかどうかをみる。 下関市：26.5% 全国：32.1% 下関市：30.2% 全国：24.7%	[中2年] B 図形 (1) イ(ア)

### (2) 下関市の子供たちの傾向

#### 【ここが苦手】

- ・説明するのに必要な情報を整理すること。
- ・「表現すること」に対する抵抗感。

#### 記述式設問の無解答率【国・算(数)】

	下関市平均	全国平均
小学校	8.5%	7.9%
中学校	18.8%	15.7%

### (3) 授業改善のポイント

- ★ 伝えたいことを、必要な情報を選択しながら目的に応じて表現する学習活動の設定
- ★ 「相手に分かりやすく伝えること」を意識した学習指導

#### ◆前提として…

- ・課題解決に必要な知識・技能は、教師がしっかりと**教える**。
- ・課題解決の場面における児童生徒の**つまづきを想定し**、発問や支援の方法について考える。

#### ◇まずは、表現することの抵抗感を解消するために…

- ・学級の**支持的風土を育む**（安心して表現できる環境づくり）。
- ・自分の思いや考えを**表現したり、交流したりする場面を意図的に設定**する。
- ・お互いの思いや考えを**伝え合うことの良さや楽しさを実感できる学習活動**を設定する。

#### ◇目的に応じて工夫して表現するために…

- ・相手意識や目的意識をもって**表現方法を見直し、改善する活動**を設定する。
- ・ICT機器等を活用しながら、**発言や内容を振り返る活動**を設定する。

#### ◇表現する力を高めるために…

- ・各教科の用語の**理解・定着**を図るとともに、用語を使った説明ができるような学習活動を設定する。
- ・キーワードや字数制限など、**条件付きで書く活動**を設定する。